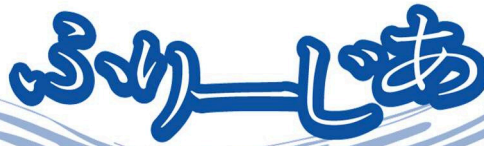




自治労連
新聞



全国自治団体労働組合連合

ふりーじあ 第25号
発行日：平成28年10月
自治労連教宣部発行

本部 〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22 北区役所B1 全連協事務所内 (03)3907-5177

自治労連各単組定期大会紹介

本年度に開催された各単組の定期大会の様子の一部をご紹介します。

石垣市職員労働組合 4月25日

4月25日(月)の夜、ホテルミヤヒフに於いて第52回定期大会が開催されました。

今回の定期大会では、新しく組合に加入した若い面々も多く見られ、今後の活動の拡大を確信させる盛大な催しとなりました。

2期目の折り返しを迎えた中山市長を支えていくべく、組合活動を昨年より活発に展開していく所存でございます。

組織拡大はもちろんの事、組合員との交流を深めより一層「友愛と信義」をもって全力で取り組んでいきますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。

(執行委員長・鹿川栄伸)



石垣市職員労働組合

玉野市役所職員組合 5月27日

去る5月27日(金)に、第56回玉野市役所職員組合定期大会を市役所にて開催しました。

大前執行委員長は熊本地震の被害のことに触れ、「自治労連の仲間も大変な目に遭っているが、市の職員として日夜災害対策業務に当たっている。」と報告しました。

玉野市の財政状況は非常に厳しく、昨年はまさかの人事院勧告の見送りがなされたが、民間からは給与アップとの声も聞こえてくるため、今年こそは給与の引き上げを実感したいと述べました。

また、今年度の役員改選で、執行部に史上初となる女性が登用されました。自治労連においても女性部会の立ち上げが検討されており、女性ならではの視点から組合活動と家庭の両立など問題提起してもらい、改善に向けて取り組んで参ります。

(執行委員長・大前和紀)



玉野市役所職員組合



新執行部体制

荒尾市役所新職員組合 6月24日

荒尾市役所新職員組合の平成28年度通常総会を6月24日(金)に行いました。4月には熊本地震が発生し、荒尾市は観測史上最大の震度5弱を観測したものの、熊本県北部で、震源地から遠いということもあり、幸いにも住家やライフラインなどに影響はありませんでした。

本年度も自治労連中央執行委員長を輩出する単組として、他の単組の取組みを参考に、組合員のために全力を尽くして頑張っていきます。

(書記長・西卓也)

宮古島市職員労働組合 6月24日

自治労連宮古島市職員労働組合では、6月24日(金)、レストラックールにおいて第11回定期大会を開催しました。

湧川執行委員長は、「保育園臨任職員、1日あたり500円賃上げの処遇改善が行われたことを報告し、更なる労働条件、職場環境の改善・確保に取り組みしていく」と挨拶しました。

今後、「自由と民主主義と社会正義」を基本理念に住民優先を基本的に考え、住民や組合員の理解を得ながら、組合活動をしてまいりますので、「支援」協力をよろしく願っています。

(書記長

・川満紀智)



荒尾市役所新職員組合



宮古島市職員労働組合

熊本地震への支援のお礼と若者議会傍聴

「愛知県新城市（しんしろし）」

新城市の皆様、心温まる支援

ありがとうございます

4月の熊本地震の発生時、若者政策を通じて自治労連と友好的関係にある愛知県新城市の皆様が、被災地である熊本県八代市まで真っ先に駆けつけ、やつしろハーモニーホールをはじめとする5箇所の避難所（体育館や公民館等）に段ボールを1500枚届けていただきました。（機関紙ふりーじあ23号掲載）

新城市は、段ボールメーカーのセツカートン株式会社と、災害時における物資調達の協定を結んでいます。この協定は新城市における災害時協定であるため、今回の熊本地震に対しては対象外です。しかし、災害時のための段ボールはストックされていることから、新城市がその段ボールを買い上げ、八代市の避難所まで自ら運搬して届けてくださいました。

避難所の体育館では、届けられた段ボールで間仕切りを作ることで、避難者のプライバシーが確保され、その安心感から避難者の方々からは笑顔が見られるようになりました。

この一連の新城市の皆様への行動には、感謝の気持ちでいっぱいです。新城市の皆様、本当にありがとうございます。

8月26日（金）、被災地熊本も落ち着きを取り戻し、現地を離れることが可能になったこともあり、自治労連から関谷副委員長と西濱顧問が、新城市役所へ感謝の気持ちを届けに行っていました。



新城市と自治労連

平成27年1月、東京都内で一般社団法人日本経営協会（NOMA）が、全国の自治体職員と地方議員を対象に、「若者のチカラを巻き込む若者政策」の研究会を開催しました。その中の特別企画として、新城市から「若者に任せる！行政の常識が変わる新城市の若者政策」というタイトルでの事例発表があり、そこに参加していた西濱顧問が、新城市の本気度と大きな衝撃を受けました。

少子高齢社会が進展し、人口減少時代にある中、まちの賑わいが失われてきている地域が多くなっています。時代の変遷とともに、若者の政策的対応の必要性が求められているのではないのでしょうか。

新城市の担当職員そして若者政策メンバーの取り組みの姿勢に、行政としてはもとより職員団体としても学ぶべきことが数多くあるのではないかと西濱顧問の思いから、この研究会をきっかけに、私たち自治労連と新城市のお付き合いが始まることとなりました。具体的には、平成27年11月に八代市役所職員組合、そして平成28年1月には、自治労連中央執行委員を対象として、新城市の若者政策の取り組みを学ぶ研修会を開催し、組織の意識改革の向上等に繋げているところです。

日本初「若者議会」を傍聴

お礼に伺った当日は、第7回新城市若者議会の開催日だったため、19時からの議会の傍聴させていただきました。この取り組みを周南市役所職員組合としてもぜひ参考にしたいことから、山口県周南市より澤重副委員長、青原書記長、伊藤書記次長も傍聴に駆けつけました。



新城市若者議会とは （会議ではなく議論です）

「新城市若者議会」
愛知県の38ある市の中で唯一の消滅可能性都市とされた新城市ですが、穂積亮次市長の第3期マニフェストにも掲げた「若者政策」の一環として、全国初となる「若者条例」と「若者議会条例」を制定し、平成27年4月1日から正式にスタートしました。

若者議会とは、その条例に基づき、若者をとりまくさまざまな問題を考え、話し合うとともに、若者の力を活かすまちづくり政策を検討し市長に答申するもので、総合的に若者政策の推進を図り、もって市民が主役のまちづくり及び世代のリレーができるまちの実現に寄与することを目的としています。

当日の第7回若者議会の内容

8月26日の若者議会は新城市議会議場で開催され、政策の中間発表がありました。

- ・チーム名：キューピー（図書館チーム）
- 「図書館リノベーション事業」
- ・チーム名：ハッピーターン（まちなみ情報センターチーム）
- 「ハッピーコミュニケーション支援事業」
- ・チーム名：新城勝舞隊（広報PRチーム）
- 「若者議会PR事業」
- ・チーム名：SPRING（課題から政策チーム）
- 「もつくる新城×若者議会もつくるもつくる事業」

高校生の議長が議会を取り仕切り、若者議会委員5人から7人で構成されているそれぞれのチームから、各事業の政策発表を行います。その政策に対して市長をはじめとする実際に市議会に市側として出席している部課長級以上の職員が、さまざまな質問や意見を述べ、その後、その政策が市民に理解されるものであり、明確に説明できる

ものであるかどうかを、自分たちを含めた若者議会委員が審議して、政策を継続するかどうかの判断をしていきます。

内容は想像以上のものです。ぜひホームページをご覧ください。<http://wakamono-gikai.jp/>

大人気のない本気度

若者議会のチームメンバーは高校生の中に社会人が一人という構成で、高校生が中心となり発表します。それに対する市側の質疑は、相手が高校生ということを一切考慮せず、情け容赦のないものです。

例えば、その政策は予算がどのくらいで観光収入の見込みほどの程度を考えているのか？バスはワンマン運転なので、その政策にあるバス停には停車は難しいが、そこまで考えているのか？今、市では、このようなことで苦労しているが、その実情は知っているのか？など、実際の議会での質疑応答と同レベルのものです。

メンバーはこの日のために学業や部活動で多忙な日程の合間を縫って、関係者への聞き取りやアンケート、現場調査、チーム内での検討などを行ってきました。その本気度が大人を本気にさせるのか、議場は本気对本気の真剣勝負で、傍聴者を興奮させるものでした。



高校生らしからぬ堂々とした発言

議会での政策発表は、大勢の場で、しかも大人を相手にしているにもかかわらず堂々としたものでした。

「これが本当に高校生なのか」と目と耳を疑うほどの発言力です。

純粹で前向き

この「若者議会」を傍聴して感じたことは、若者の政策が純粹かつ前向きであることです。私たち公務員は何かを始めようとすると、必ず消極的な意見が多く出てきます。リスクを伴うものは行わない傾向にあります。それが良いアイデアは生まれません。若者の純粹な「新城市を良くしたい」「新城市に自らがもつと貢献したい」という想いには、消極的な発想は全くありませんでした。



バイスをしてくれるチームがあり、そこに信頼関係があるからこそ、若者議会が生き生きとしているのではないかと感じました。

新城市を訪問して

若者議会の傍聴を終え、穂積亮次市長に市長室にてお礼を述べたのち、意見交換をしました。その後、若者政策チームと懇談した中で感じたことは、新城市長をはじめ、市の職員、若者議会委員の皆様の、地域への想いや住民に喜んでもらいたいという気持ちがとても強いということでした。

この新城市のみなさんの、地域を愛する考え方は、住民目線の我々自治労連と共通するものがあり、自治体職員と労働組合という立場からも、共感できるものです。

この素晴らしい新城市の取り組みを実際に体感して、この市が2040年に消滅することはないと強く感じました。

今後新城市の皆様と友好な関係を保ちながら、お互いにさまざまなことで協力していきたいと心から感じた一日でした。

(副執行委員長 関谷)

第26回代表者書記長クラス

合同会議のお知らせ

【開催日】平成28年10月29日(土)～30日(日)

【場所】海峡メッセ下関(山口県下関市)

- ・選挙と公務員、地方分権時代における政策実現の手法
- ・厚生年金の標準報酬制について
- ・組合交渉に必要なノウハウ

事例から学ぶ法令の基本とテクニク



新城市若者議会の皆様

えびの市役所職員組合 6月24日

6月24日(金)に別棟1-13、4会議室において、多数の組合員の参加のもと「えびの市職員組合 第43回定期大会」が開催されました。

湯田執行委員長は「これから新たな時代を迎えていく中で、もう一度組合が果たすべき役割や必要性を再確認し、組合員および協力者の皆さんが安心して働ける職場づくりに向けた活動を展開していく。また、先輩方が築き上げてこられた運動や理念を大切にしながら、これまで目標とされてきた「組合員だけで100名」というものを通過点として、今後も組織拡大に努めていきたい。」と挨拶をし、その後全ての議案が満場一致で可決・承認されました。

今年度も、職員組合らしい市民目線を大切にしたり行動や言動を意識しながら質の高い公共サービスを目指して取り組んでいきます。

(執行委員長・湯田正樹)



えびの市役所職員組合



自治労連 田爪書記次長祝辞



日向市役所職員組合 7月8日

7月8日(金)に、自治労連より濱村真光中央執行委員長をお迎えして、第45回日向市役所職員組合定期大会を開催しました。

前回大会までは市内ホテル会議室等にて、定期大会を開催していましたが、定期大会の参加者数の減少を食い止めるべく、今回は市本庁舎内の市議会委員会室にて開催しました。

結果は前大会参加者より参加者が多く、次回以降も同様の取り組みを行い、更なる大会参加者を増やす活動に取り組まねばと、改めて認識した所です。

大会終了後は、懇親会を開催し、組合員間の親睦を深めることができました。

(書記長・柏田高宏)



日向市役所職員組合

熊本市役所第一職員労働組合 7月22日

熊本市役所第一職員労働組合は、平成28年7月22日(金)メルパルク熊本において、第51回定期大会を開催いたしました。

熊本地震による犠牲者に黙祷を捧げた後、福田執行委員長は「熊本地震による災害対応業務では、不眠不休で市民のため業務に尽力され、大変お疲れ様です。組合としては最低でも週1日は休ませるよう働きかけを行っていきます。熊本の復興へ向けて、共に頑張ってください。」と挨拶しました。

その後、平成27年度活動経過報告・決算、平成28年度運動方針、一般会計・特別会計予算を報告・審議し、無事承認されました。また、熊本地震に伴う提案も承認されました。

今後も本市の復興・発展のため、また組合員の権利・生活上のため努力していきますので、よろしく願います。

(執行委員長・福田幸弘)



熊本市役所第一職員労働組合

全北区職員連絡協議会 7月29日

全北区職員連絡協議会第32回定期総会が、去る7月29日(金)北とびあにおいて開催されました。

岩田議長の挨拶の後、来賓の花川北区長より祝辞を頂戴し、山口幹事長により一般経過報告及び新年度運動方針案の審議が行われました。続いて収支予算報告と新年度予算案について報告・提案がなされ、満場一致で承認・採択されました。

民主的で人間性豊かな先輩方が築いた私共の組合です。今後も執行部一丸となつて、会員の労働条件の向上、満足度向上のために取り組んで参ります。

(会計・古屋哲郎)



全北区職員連絡協議会

